

津田工業株式会社

環境・CSRレポート

Contents

1. 会社紹介
2. 環境活動／安全衛生活動
3. コンプライアンス／地域・社会の一員として



経営スローガン

**愚直なものづくりを通じて
お客様に貢献し、
社会との共生・発展を目指す**

1. 社会・顧客との共生・発展
2. 社員による社員のための
企業風土の確立
3. コア技術・コア製品を軸とした
「ものづくり力」の再生・強化
4. チャレンジアブルな
仕事への取り組み

TSUDA

◆ 会社のご紹介

◇ 社長あいさつ



取締役社長
野入 達徳

私ども津田工業は、駆動系・シャシー系・シフトレバーなど自動車の様々な重要部位の部品・ASSYの製造を行っています。安全・品質第一をモットーに下記の取り組みを進めております。

- 1) 冷間鍛造・樹脂成形技術を柱とした粗形材から加工・組付まで一貫生産体制への拘り
- 2) 優れた設計、生産技術力の推進による特色ある製品工法の創造
- 3) リーダーシップや問題解決能力の向上を目指した体系的な人材育成の展開

また、お客様のニーズを先取りする開発提案型企業をめざすと共に、社会貢献、環境保全を重視し、地域社会ひいては世界の人々に貢献します。津田工業は、「愚直なもののづくりを通じてお客様に貢献し、社会との共生・発展を目指す」という経営スローガンの実現に向けて、今後も全力で邁進してまいります。

▽ 生産品目

シフトバ-ASSY



AT部品・HV部



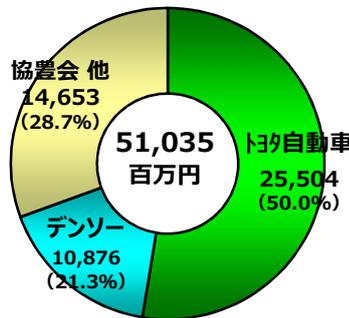
カーエアコン部品



▽ 会社概要（2024年3月末時点）

- ・ 創 業：昭和9年12月
- ・ 資 本 金：13億15百万円
- ・ 従 業 員 数：1,141名
- ・ 売 上 高：51,035百万円
- ・ 主 要 株 主：トヨタ自動車・デンソー
- ・ 発行済株式総数：790万株
- ・ 国内子会社：マイ谷(刈谷市)
カゲメテナス(豊川市)

得意先別売上高
('23/4~'24/3)



▽ 生産拠点（国内4拠点、海外4拠点）



◆ 環境活動



環境基本方針

全ての社員が地域との共存を目指し、環境活動を通して、社会的責任を果たすため、環境基本方針を制定しています。

1. 「ものづくり」は地球環境と深く関連していると認識し、法的及びその他の要求事項を遵守し、環境保全の維持向上に努めます
2. 製品の開発・設計・生産・廃棄に至るすべての事業活動において、省資源、排出物の減量化、環境負荷物質の削減・廃止に取り組みます
3. 社員一人ひとりが環境に対する意識向上を図り、自覚と責任をもって環境保全の維持向上に努めます
4. より良い地球環境の実現に向けて、社会や地域における環境保護に積極的かつ永続的に取り組みます



環境マネジメント活動

生産の主力工場である豊川工場において、環境の国際規格ISO14001の認証取得を通じて、温室効果ガス(主にCO₂)の削減、循環型社会の実現に向けた産業廃棄物の3R活動を推進しています。自然豊かなこの地の環境を守り、地域社会に貢献してまいります。



▽ 環境データ

事業活動における環境負荷の低減を図るため、毎年、具体的な数値目標を設定し、CO₂低減、廃棄物削減の取り組みを進めています。

特にトヨタグループ各社と取り組みを進めるCO₂削減の共通目標である『環境チャレンジ2030年』においては、当社も部品メーカーの立場で参画し、目標達成に向けて、社内取組みを強化しています。



CO₂ 排出状況

- ・ 原 単 位 23年度：0.439
(13年比：10.6%低減)
- ・ 排出総量 23年度：22.1千トン
(13年比：20.5%低減)

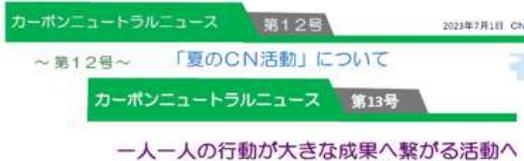
※原単位=排出総量(t)/売上(百万円)

◆ 環境活動

▽ CN(カーボンニュートラル)への取り組み

CN(カーボンニュートラル)を重点経営課題と捉え、全社横断組織としてCN委員会を発足。CO2排出量の見える化と省エネの改善フォロー、社外情報の収集や横展を通じて、具体的な削減手段と実行計画の立案を推進しています。また、定期的な情報発信(CNニュース)等を行ない、従業員の意識啓発にも努めています。

※ CN(カーボンニュートラル)・・・
温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること



CNニュース画面(社内での活動事例を紹介)

▽ 地域環境の保全に向けて

工場から排出される排水処理前の汚水は、社外に流出し環境事故を起こさないよう、管理を徹底しています。一方で、万一が発生した“もしも”の場合にも対応できるよう社外への流出防止訓練も定期的の実施しています。



雨水側溝への油流入を想定した訓練の様子

◆ 安全衛生活動



安全活動

安全は経営の基盤であるという認識に基づき、安全教育・諸活動水準の継続的な向上、職場リスクの低減を推進しています。

▽ 作業観察



職場教育の確実な実施、職制による作業者の作業観察、教育・遵守ルールの理解確認を重視して、不安全行動による災害防止に努めています。

▽ 『ポケ手なし』励行

全従業員に起こり得る歩行災害を防止するための標語が「ポケ手なし」です。

「ポケ手なし」とは、

【ポ】ポケットに手を入れて歩かない

【ケ】携帯を触りながら歩かない

【手】手すりを持って階段昇降

【な】ななめ横断禁止

【し】交差点では指差呼称

のことで、絶対に労働災害が発生させないための基本的行動を励行しています。



衛生活動

従業員が健康で、明るく元気に過ごせるよう、従業員の意識向上・健康管理に努めています。

▽ 産業医面談



従業員が、入社時から産業医・看護師と健康管理の意識付けと気軽に心身の体調について相談できる関係構築のため、健常者であっても面談機会を設けるなど従業員の意識向上・健康管理に努めています。また、受診勧奨と共に多くの健康障害を引き起こす要因となる肥満(BMI)・体重変化に着目し未然防止活動を行っています。



交通安全

運転技能及び車の死角を再認識させる講習を行っています。

▽ 運転技能確認講習



自動車関連企業として交通事故ゼロをめざして、新入社員を対象に、運転技能の研修を行うとともに、事故を起すことにより自身だけでなく、周りの方々の人生にも影響を与えることを認識させる諸活動を行っています。また、会社周辺での事故の未然防止活動として、安全立哨をしています。

◆ 安全衛生活動



健康活動

津田工業では、2022年度から従業員とご家族の健康の保持増進のため、「健康経営」の考えを導入、「健康」を会社方針に位置づけ、トップ健康宣言「人生は100年の時代、毎日を明るく、楽しく、元気良く!」を掲げて、健康づくりに取り組んできました。



健康経営優良法人2024
(大規模法人部門) 認定証

▽ 8000歩活動

目的 薬に頼らず 高血圧・糖代謝 を改善する方法として 定期的な運動が有効なため1日8000歩に取り組む。

活動のブラッシュアップ 歩行に代わる取組み内容

運動内容例	時間or回数	換算後の歩数
ラジオ体操	1回	300歩
自転車	10分	1,000歩
水中歩行	10分	1,000歩
筋トレ	10分	1,000歩
水泳	10分	1,000歩
ジョギング	10分	1,000歩をプラス

【基本】 10分の運動* = 1,000歩

◆ コンプライアンス (法令遵守)



法令遵守

コンプライアンスの徹底は、会社法における内部統制規定の制度化、また、従業員による違法行為・不祥事を未然に防止する観点からも、会社が持続的な発展を目指すため 必須の取り組みです。

▽ 行動倫理ガイド (ポケット版)



『行動倫理ガイド』には、社員がより高い倫理観をもって業務に取り組むための具体的な行動基準が示されています。携帯サイズにコンパクトにまとめ、啓発しています。

▽ コンプライアンス教育



法令や会社の規則を再認識させることは、従業員がルールを守るという意識付けと職場環境を整えることにつながります。基幹職から新入社員まで、階層別の教育を実施しています。

◆ 地域・社会の一員として



社会貢献活動

“社会との共生・発展”という経営知-ガンのもと、「良き企業市民」であり続けたいと考える、津田グループの地域住民の皆様との親睦・貢献活動の取り組みを紹介します。

▽ 献血活動



刈谷・豊川工場では団体献血を実施しています。毎年6月には、刈谷工場にて50名を超える社員が割り当てられた時間に、仕事の合間を縫って参加。例年、全社で100名近くの協力があります。

▽ 従業員参加型の寄付活動



MTAT社(タイ)ではヨーン県児童福祉保護センター宛に、運動用品・文具を寄贈、TUC社(米国)では、低所得者支援施設への食料品寄付活動(フードドライブ)や、防犯のための警察犬導入の寄付など、催し物を通じての地域貢献活動を実施しています。

津田工業株式会社

〒448-8657 愛知県刈谷市幸町1-1-1

〈問合先〉総務部人事総務室 Tel:0566-61-0711 [代表]

<企業倫理相談窓口>

社内の組織や従業員個人の不正・不法行為を早期に認知し解決を図ることを目的に、通報窓口を設置しております。お気にかかることがございましたら、以下の窓口まで情報をお寄せ下さい。

Tel:080-6963-0784 電子メール:soudan@tsuda-inc.jp